



なぞって練習

隨身は、夕顔の花を
ちようどこの時門をあ
けさせて出て来た惟光
の手から源氏へ渡して
もらった。

「鍵の置き所がわかり
ませんので、たいへ
ん失礼をいたしました。
よいも悪いも見分けら
れない人の住む界あい
ではございまして、
見苦しい通りにお待た
せいたしました。」
と惟光は恐縮していた。